

「新しい学校づくり」通信

義務教育学校の校名選考の進捗状況をお知らせします。

北地域の義務教育学校の校名募集については、60名の方から43案、御応募いただきました。ありがとうございました。その後、6月末の一次選考で候補を15案にしぼりました。そして、学校を訪問し、本川根小学校の4～6年生、本川根中学校の1・2年生に、この校名候補を示し、その学校のイメージや意見・感想をいただきました。

～本川根小へ訪問～ 4～6年生と義務教育学校の校名について話し合い



S

小グループで話し合い、ワークシートに、その校名から思いつくイメージを言葉でつなげ、新しい学校へのイメージをふくらませていきました。

～本川根中へ訪問～ 1・2年生と義務教育学校の校名について話し合い



グループでの話し合いのあと、最後に、個人で、自分が一番ぴったりあうと思った校名とそのイメージ（意見や感想）をまとめました。限られた時間の中で、グループや個人でじっくり考えて、記述していました。

ここでいただいた、校名のイメージ、意見等を二次選考の資料とします。児童・生徒のみなさん、先生方、御協力ありがとうございました。

～裏面～

～学校を訪問～ 義務教育学校に向けて

南地域の義務教育学校の校名については、5月号でお伝えしたとおり、教育委員・学校運営協議会委員の皆様による校名検討会議を実施し、「川根本町立三ツ星学園」で議会の承認を受ける予定です。そこで、小・中学校を訪問し、①「義務教育学校とは」②「校名選考経過、“三ツ星”の意味」③「児童生徒へのお願い（メッセージ）」について説明しました。そして、義務教育学校開校に向け、新しい学校づくりの準備をしていこうと投げかけました。

～三ツ星小へ～ 4～6年生に、あらためて、義務教育学校がどんな学校か知っていただきました。



義務教育学校の名前は聞いたことがあるけれど、どんな特徴のある学校か、より理解を深めました。数年後は、義務教育学校をリードし中心となって活躍する4～6年生のみなさんに、一人でも、みんなでもがんばれる学校を創ろうとメッセージを送りました。

～中川根中へ～ 義務教育学校の校名の進捗状況、「三ツ星」の意味について説明しました。また、義務教育学校開校に向け、児童・生徒の皆さんにメッセージを送りました。



来年、義務教育学校開校時の最上級生9年生、8年生のみなさんに、新しい学校づくりの考えをお伝えしました。みなさん、真剣なまなざしで聞いてくださり、新しい学校を迎えるという意欲を感じました。ありがとうございました。

～終わりに～

三ツ星小、中川根中、本川根小では、子供達の夏休み期間に、改修工事を予定しています。校名については、7月末に二次選考を実施し、最終候補名をあげ、9月の議会で決定する予定です。よろしくお願ひします。